

ライフ・ジャーニー (かしこく育てるコース)

【愛称:最高の人生の描き方】
【運用報告書(全体版)】

(2025年9月17日から2026年3月16日まで)

第 **16** 期
決算日 2026年3月16日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、世界各国の株式、債券および不動産投資信託(リート)等に分散投資します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|------------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／資産複合 |
| 信託期間 | 無期限(設定日：2018年5月16日) |
| 運用方針 | 投資信託証券への投資を通じて、世界各国の株式、債券および不動産投資信託(リート)等に分散投資します。 |
| 主要投資対象 | 当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト/ ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド(アキュムレーティング・クラス、円建て) 上場投資信託(ETF) マネー・トラスト・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品 |
| 当ファンドの運用方法 | ■世界各国の株式、債券および不動産投資信託(リート)等に分散投資します。 ■中長期的な目標リターンとして短期金利相当分+年3%程度を目指して資産配分を行います。 ■投資対象とする外国投資信託の運用は、ブラックロック・アセット・マネジメント・ノース・アジア・リミテッドが行います。 |
| 組入制限 | ■外貨建資産への直接投資は行いません。 |
| 分配方針 | ■年2回(原則として毎年3月および9月の15日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。) |

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近 5 期の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 価 額 | | | 公 社 債 率 | 投 資 信 託 証 券 組 入 率 | 純 資 産 額 |
|------------------|---------|-------|---------|---------|-------------------|---------|
| | (分配落) | 税 込 金 | 騰 落 中 率 | | | |
| | 円 | 円 | % | % | % | 百万円 |
| 12期(2024年 3月15日) | 14,128 | 0 | 7.3 | 0.0 | 99.2 | 25,209 |
| 13期(2024年 9月17日) | 14,391 | 0 | 1.9 | 0.0 | 98.7 | 34,882 |
| 14期(2025年 3月17日) | 14,614 | 0 | 1.5 | 0.0 | 98.7 | 44,386 |
| 15期(2025年 9月16日) | 16,364 | 0 | 12.0 | 0.0 | 99.0 | 55,063 |
| 16期(2026年 3月16日) | 17,745 | 0 | 8.4 | 0.0 | 98.8 | 70,474 |

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 価 額 | 騰 落 率 | 公 社 債 率 | 投 資 信 託 証 券 組 入 率 |
|-------------|---------|-------|---------|-------------------|
| | | | | |
| 2025年 9月16日 | 16,364 | — | 0.0 | 99.0 |
| 9月末 | 16,475 | 0.7 | 0.0 | 98.8 |
| 10月末 | 17,168 | 4.9 | 0.0 | 99.0 |
| 11月末 | 17,359 | 6.1 | 0.0 | 99.2 |
| 12月末 | 17,520 | 7.1 | 0.0 | 99.0 |
| 2026年 1月末 | 17,709 | 8.2 | 0.0 | 99.0 |
| 2月末 | 18,413 | 12.5 | 0.0 | 99.1 |
| (期 末) | 円 | % | % | % |
| 2026年 3月16日 | 17,745 | 8.4 | 0.0 | 98.8 |

※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2025年9月17日から2026年3月16日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

| | |
|-----|---------------------------|
| 期首 | 16,364円 |
| 期末 | 17,745円 (既払分配金0円(税引前)) |
| 騰落率 | +8.4% (分配金再投資ベース) |

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2025年9月17日から2026年3月16日まで)

当ファンドは、主としてE T F (上場投資信託) への投資を通じて世界各国の株式、債券およびリート(不動産投資信託)等に分散投資を行う外国投資信託証券*を主要投資対象としました。なお、世界の債券に投資するE T Fについては、為替ヘッジ付きのものを投資対象としています。
※外国投資信託証券の運用は、ブラックロック・アセット・マネジメント・ノース・アジア・リミテッドが行います。

上昇要因

- 米国の利下げ期待や堅調な経済指標、企業決算の底堅さなどから、先進国株式、日本株式、新興国株式、米国リート、国内リートが上昇したこと

下落要因

- 中東情勢の緊迫化によるインフレ圧力の高まりや利下げ観測の後退から、米国債券、米国投資適格社債、米国ハイイールド社債が下落したこと

投資環境について（2025年9月17日から2026年3月16日まで）

株式市場においては米国株式や英国株式、欧州株式、新興国株式、日本株式は前期末比で上昇しました。債券市場について、前期末比で利回りが上昇しました（価格は下落、現地通貨ベース）。投資適格社債およびハイイールド社債のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は共に前期末比で拡大しました。リート市場では、先進国リートは前期末比で上昇しました。為替市場では前期末対比で米ドル・円とユーロ・円ともに上昇し、円安が進みました。

株式市場

株式市場においては先進国株式、日本株式、新興国株式はそれぞれ上昇しました。

9月は、米国の利下げ期待や堅調な経済指標を背景に先進国株式は上昇し、AI関連需要の拡大を受けたテクノロジー株等が相場を牽引しました。新興国株式においては韓国や台湾を中心に上昇しました。その後は、米中貿易摩擦懸念などを受けて下落する場面もありましたが、企業決算の底堅さや貿易摩擦懸念の後退を背景に持ち直しました。11月にはAI関連銘柄の過熱感等から株式指数は調整しましたが、12月に入ると堅調な経済ファンダメンタルズ（基礎的条件）やFRB（米連邦準備制度理事会）の利下げを背景に上昇しました。2026年1月以降は一進一退の展開となった後、2月以降は地政学リスクや一部信用市場への懸念等を背景に調整が見られました。

債券市場

米国債券市場では、前期末比で利回りが上昇しました。

期初は利下げ期待の高まりから金利は低下する場面がありました。その後、経済指標や金融政策を巡る思惑から金利は上下に振れる展開となり、年末にかけては金融政策に対する見方の変化を背景に金利は低下しました。年明け以降は金融政策動向等を背景に金利が上昇する局面もありましたが、その後はリスク回避の動きから再び低下基調となりました。

投資適格社債およびハイイールド社債のスプレッドは信用懸念を背景に前期末比で拡大しました。

リート市場

先進国リート市場では、株式の上昇と連動する形で上昇しました。日本のリート市場も、好調なファンダメンタルズを反映し、前期末比で上昇しました。

為替市場

9月以降、高市新政権が掲げる責任ある積極財政や日本銀行の利上げへのスタンスなどを背景に円は対米ドルで下落し、米ドル高・円安で推移しました。ユーロ・円についても円は下落し、ユーロ高・円安が進みました。総じて、円は主要通貨に対して下落する局面が続き、金融政策期待に左右されやすい相場環境が続きました。

ポートフォリオについて(2025年9月17日から2026年3月16日まで)

当ファンド

「ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト／ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド(アキュムレーティング・クラス、円建て)」を高位に組み入れて運用を行いました。

ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト／ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド
(アキュムレーティング・クラス、円建て)

●資産配分

年率10%程度のリスク量を目標に、各国の指数に連動する債券、株式といった伝統

的4資産に、ハイイールド社債、新興国株式、内外リートを加え、為替リスクも考慮したうえでポートフォリオ全体のリスク分散を図り、長期に安定したパフォーマンスを提供することを目標として組み入れを行いました。

組み入れたETFは、いずれも各資産クラスを代表する指数に概ね連動するもので、グローバルな市場に分散して投資を行うという、当ファンドの目的に適しています。また、各資産への配分比率は、短期的な市場変動の際にも一定の対応力があると思われる比率を勘案したうえで決定しています。

各国の景気や政局を注視しながらも、企業業績および経済指標における底堅いファンダメンタルズ等を勘案した運用を維持しました。

投資行動としては10月末、株式全体の構成比率は同水準としつつ、先進国株式(除く日本)のウェイトを引き上げ、国内株式のウェイトを引き下げました。債券ポートフォリオでは、ハイイールド債券のウェイトを引き下げ、米国国債のウェイトを引き上げました。また、2026年3月にもう一段先進国株式(除く日本)のウェイトを引き上げ、新興国株式および国内株式のウェイトを引き下げました。他方、国内リートの

ウェイトを引き上げ、米国リートのウェイトを引き下げ、債券ポートフォリオでは米国国債、米国投資適格社債のウェイトを引き下げました。

マネー・トラスト・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2025年9月17日から2026年3月16日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2025年9月17日から2026年3月16日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

| 項目 | 第16期 |
|-----------|---------|
| 当期分配金 | 0 |
| (対基準価額比率) | (0.00%) |
| 当期の収益 | - |
| 当期の収益以外 | - |
| 翌期繰越分配対象額 | 7,745 |

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとしたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、「ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト／ブラックロック・エンハンスド・ストラテジック・アロケーション・ファンド(アキュムレーティング・クラス、円建て)」の投資比率を高位に保ちます。

ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト／ブラックロック・エンハンスド・ストラテジック・アロケーション・ファンド(アキュムレーティング・クラス、円建て)

米トランプ政権の政策や地政学リスクの状況次第では短期的には市場のボラティリティ(変動性)が高まる可能性があります。しかし、堅調な経済指標や良好な企業決算が中長期的にはリスク性資産を下支えすると考えます。新興国についても、ボラティリティの高い展開が続きやすいと思われるものの、良好なマクロ環境を背景に底堅く推移すると考えます。

債券市場については、FRBのケビン・ウォーシュ次期議長のもとでの金融政策の行方など不透明感の強い状況が続く一方、ECB(欧州中央銀行)では利下げ打ち止め観測が強まるなか方向感は限定的とみられるため、慎重に金利リスクを調整していく

方針です。社債市場は、ファンダメンタルズは相対的に安定推移するとみられますが、リスクオフ(リスク回避)局面においてはハイイールド債券などのリスク資産が売られやすいため、動向を注視していきます。

当面は、株式を相対的に高位に保有する一方で、債券の保有は抑制気味とする方針です。ポートフォリオでは、実体経済動向や金融政策動向、各資産のバリュエーション(投資価値評価)等に留意しつつ、中長期的な目標リターンを獲得にむけてリバランス(投資配分比率の調整)を実施していく方針です。当面の運用方針としては、ボラティリティの高い市場環境を見極めつつ、慎重なリスク量の管理を行っていく計画です。

マネー・トラスト・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行います。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

1万口当たりの費用明細(2025年9月17日から2026年3月16日まで)

| 項目 | 金額 | 比率 | 項目の概要 |
|-------------|------|---------|--|
| (a) 信託報酬 | 98円 | 0.562% | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は17,369円です。 |
| (投信会社) | (28) | (0.164) | 投信会社:ファンド運用の指図等の対価 |
| (販売会社) | (66) | (0.382) | 販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受託会社) | (3) | (0.016) | 受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | － | － | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株式) | (－) | (－) | |
| (先物・オプション) | (－) | (－) | |
| (投資信託証券) | (－) | (－) | |
| (c) 有価証券取引税 | － | － | 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株式) | (－) | (－) | |
| (公社債) | (－) | (－) | |
| (投資信託証券) | (－) | (－) | |
| (d) その他費用 | 0 | 0.002 | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (－) | (－) | 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 |
| (監査費用) | (0) | (0.002) | 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 |
| (その他) | (－) | (－) | その他:信託事務の処理等に要するその他費用 |
| 合計 | 98 | 0.564 | |

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

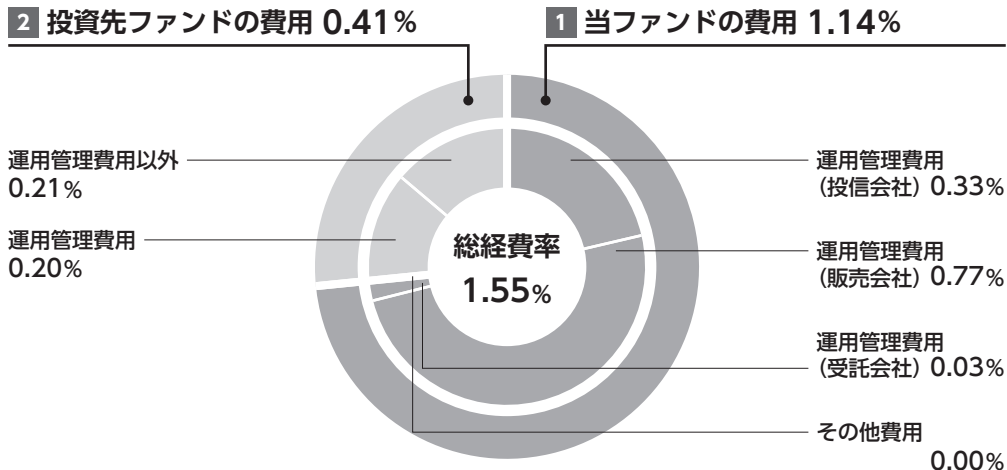
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



| 項目 | 比率 |
|------------------------------|--------------|
| 総経費率 (1 + 2) | 1.55% |
| 1 当ファンドの費用の比率 | 1.14% |
| 2 投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.20% |
| 2 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.21% |

※**1**の各費用は、前掲「1万円当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万円当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。なお、運用管理費用以外の費用には、投資先ファンドが投資している上場投資信託(ETF)の管理費用等を含みます。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.55%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況（2025年9月17日から2026年3月16日まで）

投資信託証券

| | | 買 付 | | 売 付 | |
|----|---|---------|-----------|-----|-------|
| | | 口 数 | 買 付 額 | 口 数 | 売 付 額 |
| 国内 | ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト/ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド（アキュムレーティング・クラス、円建て） | 523,333 | 9,961,100 | — | — |

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等（2025年9月17日から2026年3月16日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
（2025年9月17日から2026年3月16日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細（2026年3月16日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

| ファンド名 | 期首（前期末） | 期 末 | | |
|---|----------------|----------------|------------|---------|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 | 組 入 比 率 |
| | 口 | 口 | 千円 | % |
| ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト／ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド（アキュムレーティング・クラス、円建て） | 3,054,867.5138 | 3,578,200.6675 | 69,657,194 | 98.8 |
| 合 計 | 3,054,867.5138 | 3,578,200.6675 | 69,657,194 | 98.8 |

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

| 種 類 | 期 首（前期末） | 期 末 | | |
|------------------|----------|-------|-------|-------|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 | 評 価 額 |
| | 千口 | 千口 | 千円 | 千円 |
| マネー・トラスト・マザーファンド | 2,543 | 2,543 | 2,542 | 2,542 |

※マネー・トラスト・マザーファンドの期末の受益権総口数は792,869,484口です。

■ 投資信託財産の構成

（2026年3月16日現在）

| 項 目 | 期 | 末 |
|------------------|------------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| 投資信託受益証券 | 69,657,194 | 98.2 |
| マネー・トラスト・マザーファンド | 2,542 | 0.0 |
| コール・ローン等、その他 | 1,239,322 | 1.7 |
| 投資信託財産総額 | 70,899,059 | 100.0 |

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2026年3月16日現在)

| 項 目 | 期 末 |
|-----------------------|-----------------|
| (A) 資 産 | 70,899,059,044円 |
| コール・ローン等 | 1,239,322,503 |
| 投資信託受益証券(評価額) | 69,657,194,508 |
| マネー・トラスト・マザーファンド(評価額) | 2,542,033 |
| (B) 負 債 | 424,624,641 |
| 未払解約金 | 66,591,295 |
| 未払信託報酬 | 356,508,900 |
| その他未払費用 | 1,524,446 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 70,474,434,403 |
| 元 本 | 39,714,449,881 |
| 次期繰越損益金 | 30,759,984,522 |
| (D) 受益権総口数 | 39,714,449,881口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 17,745円 |

※当期における期首元本額33,649,950,595円、期中追加設定元本額7,117,199,882円、期中一部解約元本額1,052,700,596円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2025年9月17日 至2026年3月16日)

| 項 目 | 当 期 |
|----------------------|-------------------|
| (A) 配 当 等 収 益 | 2,749,656円 |
| 受 取 利 息 | 2,749,656 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | 5,104,215,772 |
| 売 買 益 | 5,207,331,157 |
| 売 買 損 | △ 103,115,385 |
| (C) 信 託 報 酬 等 | △ 358,033,346 |
| (D) 当 期 損 益 金(A+B+C) | 4,748,932,082 |
| (E) 前 期 繰 越 損 益 金 | 9,193,351,659 |
| (F) 追 加 信 託 差 損 益 金 | 16,817,700,781 |
| (配 当 等 相 当 額) | (14,960,622,546) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (1,857,078,235) |
| (G) 合 計(D+E+F) | 30,759,984,522 |
| 次 期 繰 越 損 益 金(G) | 30,759,984,522 |
| 追 加 信 託 差 損 益 金 | 16,817,700,781 |
| (配 当 等 相 当 額) | (14,960,622,621) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (1,857,078,160) |
| 分 配 準 備 積 立 金 | 13,942,283,741 |

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

| | 当 期 |
|----------------------|----------------|
| (a) 経費控除後の配当等収益 | 2,576,813円 |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益 | 4,746,355,269 |
| (c) 収益調整金 | 16,817,700,781 |
| (d) 分配準備積立金 | 9,193,351,659 |
| (e) 当期分配対象額(a+b+c+d) | 30,759,984,522 |
| 1万口当たり当期分配対象額 | 7,745.29 |
| (f) 分配金 | 0 |
| 1万口当たり分配金 | 0 |

■ 分配金のお知らせ

| 1万口当たり分配金（税引前） | 当 | 期 |
|----------------|---|---|
| | | |

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

| | |
|---------|--|
| ファンド名 | ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト／ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド（アキュムレーティング・クラス、円建て） |
| 形態 | ケイマン籍契約型投資信託（円建て） |
| 主要投資対象 | 上場投資信託（ETF） |
| 運用の基本方針 | <ul style="list-style-type: none"> 主にブラックロック・グループが運用するETFであるiシェアーズを通じて様々な資産への投資を行い、値上がり益および利子・配当等収益からなるトータルリターンを獲得を目指します。 ファンドの想定リスクが大きくなる場合は、資産配分を見直し、現金等の保有比率を高める場合があります。 |
| 主な投資制限 | <ul style="list-style-type: none"> 有価証券の空売りは行いません。 純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 非流動性資産への投資比率は、純資産総額の15%以下とします。 同一発行体に対する投資比率は、純資産総額の10%以下とします。 <p>なお、ファンドがETFを保有している場合は、当該ETFが保有する有価証券によって投資割合を測定します。</p> |
| 分配方針 | 分配を行わない方針です。 |
| 運用管理報酬 | <p>純資産総額に対して</p> <p>運用報酬：年0.15%程度 （副投資顧問会社に対する報酬は、投資顧問会社の運用報酬より支払われます。）</p> <p>受託会社報酬：年間10,000米ドル</p> <p>管理費用：最大年0.04%程度（最低年40,000米ドル）</p> <p>名義書換代行費用：年0.01%程度</p> <p>※別途、当ファンドが投資するETFにおいても運用管理費用がかかります。</p> <p>※上記のほか、保管費用がかかりますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率等を示すことができません。</p> <p>また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回ることがあります。</p> |
| その他の費用 | <p>ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p> |
| 申込手数料 | ありません。 |
| 投資顧問会社 | ブラックロック・アセット・マネジメント・ノース・アジア・リミテッド |
| 副投資顧問会社 | ブラックロック・ジャパン株式会社 |
| 購入の可否 | 日本において一般投資者は購入できません。 |

以下には、「ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト／ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド（アキュムレーティング・クラス、円建て）」をシェアクラスとして含む「ブラックロック・グローバル・インベストメント・トラスト／ブラックロック・エンハンスト・ストラテジック・アロケーション・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

■ 損益計算書（2024年12月30日で終了する期間）

（単位：円）

投資収益：

受取配当金（源泉税控除後：161,996,139円）

1,184,105,741

収益合計

1,184,105,741

費用：

投資運用報酬

88,891,591

管理事務代行及びファンド会計報酬

25,303,407

保管報酬

13,134,384

監査報酬

4,835,854

トラスティ報酬

1,528,556

弁護士費用

1,208,944

支払利息

519,310

証券代行業報酬

283,087

その他報酬

120,598

費用合計

135,825,731

投資純損益

1,048,280,010

実現損益と未実現損益

実現純損益

投資有価証券

281,075,526

実現純損益

281,075,526

未実現損益の変動額

投資有価証券

6,331,601,441

未実現損益の純変動額

6,331,601,441

実現純損益および未実現純損益

6,612,676,967

運用による純資産の純増減額

7,660,956,977

■ 投資明細表（2024年12月30日現在）

| 株数 | 銘柄 | 純資産 比率 (%) | 公正価値 (単位：円) |
|------------|--|------------------|-----------------------|
| | 上場投資信託（99.3%） | | |
| | 日本（99.3%） | | |
| 2,077,010 | iShares Core Japan REIT ETF | 4.9 | 3,568,303,180 |
| 2,406,404 | iShares Core MSCI Emerging Markets IMI ETF | 9.5 | 6,846,219,380 |
| 4,565,010 | iShares Core MSCI Kokusai ETF | 34.9 | 25,290,155,400 |
| 45,953,158 | iShares Core TOPIX ETF | 18.3 | 13,234,509,504 |
| 7,674,073 | iShares Core U.S. Treasury Bond | 17.4 | 12,577,805,647 |
| 1,014,035 | iShares U.S. REIT ETF | 4.7 | 3,402,087,425 |
| 3,921,988 | iShares USD Investment Grade Corporate Bond JPY Hedged ETF | 9.6 | 6,930,152,796 |
| | 日本合計（取得原価 59,027,424,796円） | | <u>71,849,233,332</u> |
| | 上場投資信託（取得原価 59,027,424,796円） | | <u>71,849,233,332</u> |
| | 投資合計（取得原価 59,027,424,796円） | 99.3 | 71,849,233,332 |
| | 負債を上回る現金およびその他資産 | 0.7 | 505,063,420 |
| | 純資産 | 100.0 | <u>72,354,296,752</u> |

マネー・トラスト・マザーファンド

第10期（2024年10月16日から2025年10月14日まで）

| | |
|------|--|
| 信託期間 | 無期限（設定日：2016年1月29日） |
| 運用方針 | ■主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。 |

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準 円 | 価額 | | 公社 組入比 | 債 率 | 純 資 産 |
|------------------|---------|--------|-------------|-----------|--------|-------------|
| | | 騰 落 | 中 率 % | | | |
| 6期（2021年10月12日） | 9,962 | | △0.1 | | 70.1 | 15 |
| 7期（2022年10月12日） | 9,958 | | △0.0 | | 73.8 | 15 |
| 8期（2023年10月12日） | 9,952 | | △0.1 | | 75.0 | 15 |
| 9期（2024年10月15日） | 9,949 | | △0.0 | | 99.7 | 1,316 |
| 10期（2025年10月14日） | 9,973 | | 0.2 | | 99.0 | 787 |

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

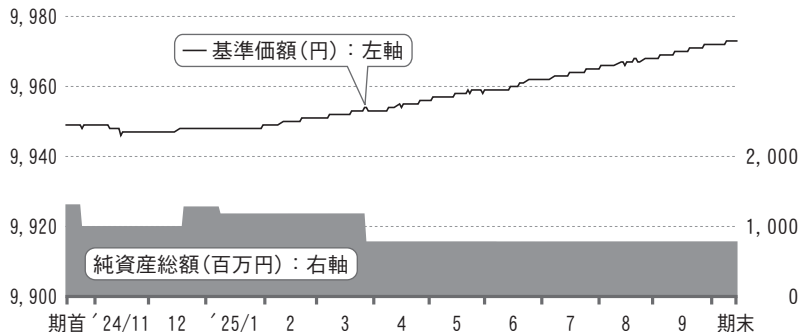
| 年月日 | 基準 円 | 価額 | | 公社 組入比 | 債 率 |
|---------------------|---------|--------|--------|-----------|--------|
| | | 騰 落 | 率 % | | |
| (期首) 2024年10月15日 | 9,949 | | — | | 99.7 |
| 10月末 | 9,949 | | 0.0 | | 99.5 |
| 11月末 | 9,947 | | △0.0 | | 99.5 |
| 12月末 | 9,948 | | △0.0 | | 99.6 |
| 2025年1月末 | 9,949 | | 0.0 | | 99.6 |
| 2月末 | 9,951 | | 0.0 | | 99.5 |
| 3月末 | 9,953 | | 0.0 | | 99.3 |
| 4月末 | 9,956 | | 0.1 | | 99.2 |
| 5月末 | 9,959 | | 0.1 | | 99.1 |
| 6月末 | 9,962 | | 0.1 | | 99.2 |
| 7月末 | 9,965 | | 0.2 | | 99.2 |
| 8月末 | 9,968 | | 0.2 | | 99.1 |
| 9月末 | 9,972 | | 0.2 | | 99.0 |
| (期末) 2025年10月14日 | 9,973 | | 0.2 | | 99.0 |

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2024年10月16日から2025年10月14日まで）

基準価額等の推移



| | |
|-----|--------|
| 期首 | 9,949円 |
| 期末 | 9,973円 |
| 騰落率 | +0.2% |

▶ 基準価額の主な変動要因（2024年10月16日から2025年10月14日まで）

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

上昇要因

- ・日銀が2025年1月に追加利上げを行ったことを受け、短期公社債や短期金融商品の利回りが上昇し、利子等の収益を確保したこと

▶ 投資環境について（2024年10月16日から2025年10月14日まで）

短期金利は、上昇しました。

政府による電気・ガス料金支援の縮小や食品価格の上昇を背景にCPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）は一時、前年比+3.7%まで上昇しました。その後、政策効果により、CPIコアは低下しましたが、食品価格の高止まりを背景に前年比+2%以上での推移は継続しました。日銀は国内経済・物価が見通しに沿って推移していると判断し、1月に開催された金融政策決定会合で、日銀当座預金付利金利を0.5%に引き上げることで無担保コール（金融機関同士のごく

短期の資金の貸借)翌日物金利を0.5%程度で推移するよう促すことを決定しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初から円安が進行したことを背景に日銀の利上げ時期が近づいているとの思惑が高まり、上昇基調で推移しました。実際に1月に行われた金融政策決定会合では利上げが決定され、利回りはさらに上昇しました。その後は、トランプ政権による関税政策の影響や、国内の政治動向をにらみ、一進一退の動きとなりました。しかし、日銀は利上げ姿勢を維持しているとの見方に変化はなく、期末にかけて利回りは緩やかな上昇基調となりました。

▶ ポートフォリオについて (2024年10月16日から2025年10月14日まで)

残存1年3ヵ月までの円建ての公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持し、利子等の安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2024年10月16日から2025年10月14日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

国内景気は米国の関税措置による影響が輸出や生産に若干見られているものの、日米貿易合意に基づく軽減措置や賃金上昇による消費の持ち直し、企業の設備投資需要を支えに、成長軌道に戻る見通しです。CPIコアの前年比伸び率は、財価格の上昇圧力の減衰が見込まれる一方でサービス価格が上昇することにより、政策要因による一時的な下押しの影響を除けば、+2%程度の伸び率を維持できる見通しです。物価安定の目標達成が視野に入中で日銀が追加利上げ姿勢を維持していることは金利の上昇要因ですが、短期市場での強い資金運用ニーズが金利上昇を抑制する見込みです。

引き続き、残存1年3ヵ月までの円建ての公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持し、利子等の安定した収益の確保を目指して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細 (2024年10月16日から2025年10月14日まで)

当期中における記載すべき項目はありません。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2024年10月16日から2025年10月14日まで)

公社債

| | | 買 付 額 | 売 付 額 |
|----|---------|-----------|------------------------|
| | | 千円 | 千円 |
| 国内 | 国 債 証 券 | 3,988,010 | 809,839 (3,712,000) |

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)
 ※()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2024年10月16日から2025年10月14日まで)

利害関係人との取引状況

| 区 分 | 買付額等 A | うち利害関係人 との取引状況 B | $\frac{B}{A}$ | 売付額等 C | うち利害関係人 との取引状況 D | $\frac{D}{C}$ |
|-------|-----------|---------------------|---------------|-----------|---------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 百万円 | 百万円 | % |
| 公 社 債 | 3,988 | 2 | 0.1 | 809 | 309 | 38.3 |

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
 (2024年10月16日から2025年10月14日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2025年10月14日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

| 区分 | 期 | | | | 末 | | |
|------|----------------------------|----------------------------|---------------------|-----------------|---------------|---------------|---------------------|
| | 額面金額 | 評価額 | 組入比率 | うちBB格以下 組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| 国債証券 | 千円 780,500 (775,200) | 千円 780,213 (774,934) | % 99.0 (98.4) | % — (—) | % — (—) | % — (—) | % 99.0 (98.4) |
| 合計 | 780,500 (775,200) | 780,213 (774,934) | 99.0 (98.4) | — (—) | — (—) | — (—) | 99.0 (98.4) |

※（ ）内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

| 種類 | 銘柄 | 期 | | | 末 |
|------|------------|--------|---------------|---------------|------------|
| | | 利率 | 額面金額 | 評価額 | 償還年月日 |
| 国債証券 | 1324国庫短期証券 | % | 千円 770,000 | 千円 769,747 | 2025/11/10 |
| | 1276国庫短期証券 | — | 2,600 | 2,597 | 2025/12/22 |
| | 342 10年国債 | 0.1000 | 2,500 | 2,495 | 2026/03/20 |
| | 148 5年国債 | 0.0050 | 2,600 | 2,588 | 2026/06/20 |
| | 344 10年国債 | 0.1000 | 2,800 | 2,784 | 2026/09/20 |
| 小 | 計 | — | 780,500 | 780,213 | — |
| 合 | 計 | — | 780,500 | 780,213 | — |

■ 投資信託財産の構成

(2025年10月14日現在)

| 項目 | 期 | | 末 |
|--------------|---------------|-----------|---|
| | 評価額 | 比率 | |
| 公社債 | 千円 780,213 | % 99.0 | |
| コール・ローン等、その他 | 7,634 | 1.0 | |
| 投資信託財産総額 | 787,848 | 100.0 | |

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年10月14日現在)

| 項 目 | 期 末 |
|-----------------------------|--------------|
| (A) 資 産 | 787,848,617円 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 | 7,634,326 |
| 公 社 債 (評価額) | 780,213,976 |
| 未 収 利 息 | 284 |
| 前 払 費 用 | 31 |
| (B) 純 資 産 総 額 (A) | 787,848,617 |
| 元 本 | 789,943,336 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | △ 2,094,719 |
| (C) 受 益 権 総 口 数 | 789,943,336口 |
| 1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (B / C) | 9,973円 |

※当期における期首元本額1,323,298,164円、期中追加設定元本額281,508,843円、期中一部解約元本額814,863,671円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

| | |
|---|--------------|
| ライフ・ジャーニー (かしく育てるコース) | 2,543,560円 |
| ライフ・ジャーニー (かしく使うコース) | 2,453,434円 |
| ライフ・ジャーニー (充実して楽しむコース) | 721,009円 |
| 人生100年時代・世界分散ファンド (資産成長型) | 100,141円 |
| 人生100年時代・世界分散ファンド (3%目標受取型) | 100,141円 |
| 人生100年時代・世界分散ファンド (6%目標受取型) | 100,141円 |
| MF S・グローバル株式ファンド | 100,181円 |
| テトラ・エクイティ | 1,503,157円 |
| ボンド・ゼロトリプル (予想分配金提示型) | 300,632円 |
| ボンド・ゼロトリプル (資産成長型) | 300,632円 |
| テトラ・ネクスト | 3,712,251円 |
| MF S 米国中型成長株式ファンド (為替ヘッジあり) | 1,003,311円 |
| MF S 米国中型成長株式ファンド (為替ヘッジなし) | 1,003,311円 |
| バロン・グローバル・フューチャー戦略ファンド (資産成長型) | 20,087円 |
| バロン・グローバル・フューチャー戦略ファンド (予想分配金提示型) | 20,087円 |
| クライメート・ソリューション・ファンド | 1,004,218円 |
| CLOインカムファンド (為替ヘッジなし) | 562,928円 |
| CLOインカムファンド (為替ヘッジあり) | 50,262円 |
| アレス・グローバル・ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし/年1回決算型) | 35,180円 |
| アレス・グローバル・ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし/年4回決算型) | 10,052円 |
| トータルヘッジ用ファンドSMB 1号<適格機関投資家限定> | 311,651,749円 |
| トータルヘッジ用ファンドSMB 2号<適格機関投資家限定> | 462,646,872円 |

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2024年10月16日 至2025年10月14日)

| 項 目 | 当 期 |
|-------------------------|-------------|
| (A) 配 当 等 収 益 | 2,267,672円 |
| 受 取 利 息 | 2,267,672 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | △ 48,224 |
| 売 買 益 | 181,470 |
| 売 買 損 | △ 229,694 |
| (C) 当 期 損 益 金 (A + B) | 2,219,448 |
| (D) 前 期 繰 越 損 益 金 | △ 6,814,356 |
| (E) 解 約 差 損 益 金 | 3,964,032 |
| (F) 追 加 信 託 差 損 益 金 | △ 1,463,843 |
| (G) 合 計 (C + D + E + F) | △ 2,094,719 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 (G) | △ 2,094,719 |

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。(適用日：2025年4月1日)